



新生児集中ケア認定看護師

生きる力を育てる

新生児集中ケア認定看護師 上野 百合子

当院の産科・新生児科は、地域周産期母子医療センターとして平成18年4月に東京都から認定を受けています。当センターのビジョンは「生きる力を育てる」です。私の働く新生児集中治療室（以下NICU）には年間300人余りの赤ちゃんが入院してきます。その中には自分で呼吸をすることができなかつたり、体重が1000gにも満たない小さな赤ちゃんもいます。社会は少子化を迎えています。早産児・低出生体重児と言われる赤ちゃんの出生割合は高くなっており、NICUの需要も増えているのが現状です。

その中で新生児集中ケア認定看護師の役割は、医療的なケアを必要とする新生児の治療中に生じる身体的・心理社会的有害事象に対して、予防的観点から働きかけ、発達の促進や個別ケアを行うことです。当NICUでは集中治療室でありながら、赤ちゃん和家人の空間が確保でき安心して穏やかに過ごすことができる環境づくりに取り組んでいます。

退院した赤ちゃん和家人の集う場として2年前からNICU卒業生の会「ほった」を開催しています。先輩ママ・パパらご入院中の赤ちゃんのご家族宛に頂いたメッセージカードは、ご家族だけでなく、私達スタッフにも大きな励みになっています。

退院する新生児とその家族をサポートするために、地域の方々とも日々連携させていただいています。新生児医療について、より多くの方にご理解いただけるよう院外でも活動してまいります。



お知らせ

市民のための災害医療



第13回 武蔵野市地域医療連携フォーラム

日時：4月9日（土）午後2時～4時30分
場所：武蔵野公会堂ホール（吉祥寺公園口 丸井隣）
入場料：無料 申込：不要

お問合せ先：医療連携センター



むさしのふれあい赤十字デー・看護週間イベント

地域のみなさまに、赤十字の活動を理解していただくために、様々なイベントを行います。

場所：武蔵野赤十字病院

日時：5月14日（土）
午前10時～午後3時
雨天決行 入場料無料
お問合せ先：医療社会事業課



都合により内容を変更する場合があります。



日本赤十字社

武蔵野赤十字病院

No.48

2016年 春

〒180-8610
東京都武蔵野市境南町1-26-1
TEL 0422-32-3111
季刊 情報誌

Eye むさしの



みなさまの健康を見守る健診センター 高橋副センター長

基本理念

- 病む人への愛
- 同僚と職場への愛
- 地域住民と地域への愛
- 地球、自然、命への愛

基本方針

- (1) 患者・家族から信頼される安全な医療を提供します
- (2) 地域中核病院としての機能向上を図ります
- (3) 地域の医療機関・行政と連携して市民が安心して住める地域づくりを進めます
- (4) 質の高い医療を提供するため、安定した病院経営を継続します
- (5) 働きがいがあり、成長を実感できる職場をつくります

人間ドックで健康寿命を伸ばそう

●定期的に「人間ドック」をお受けですか！

一見、元気そうに見えても、見えない病気が潜んでいることがあります。糖尿病や高血圧、高脂血症などの生活習慣病は、かなり進行しないと自覚症状がありません。がんも、実は何年もかかって進行して初めて見つかることが多いのです。しかし、これらの病気も早期に見つけて、治療を始めれば、治癒させることもできます。そのために必要なのが、人間ドックです。



●「人間ドック」って？

船が定期的にドックに入って点検を受けることを人に例えてつくられた言葉です。定期的に健診を受け、身体に異常がないか調べ、メンテナンスをするという事です。

●どちらがうの？「健康診断」と「人間ドック」

人間ドックは、消化管から肺、肝臓、腎臓、眼に至るまで、なるべく多くの臓器を血液や画像等で検査します。人間ドックを受けても全ての病気が発見できるわけではありません。多臓器にわたる検査を受け、より早期に病気を発見したり、小さな変化でも継続的に見て、総合的に判断していくことによって、病的な意義があるか、注意して経過を見ていくことが必要かどうかの判断をすることができます。そこで初めて継続的な人間ドック受診の意義が出てくるのです。



●人間ドックの項目として何を調べばいいの？

よく人間ドックの項目として何を調べばいいかわからない、という話を耳にします。その場合は、基本項目の他に、がん検診として、頻度が高く早期発見が有効ながんとし、胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がんの5つのがんに関わる検査をおすすめします。検査結果から自分の健康状態を知り、今後の健康維持・生活改善のための指標を見つけることができます。



●武蔵野赤十字病院の人間ドックについて教えてください。



基本項目に胃バリウム検査、胸部レントゲン、便潜血反応を含み、その他、胃については内視鏡検査、胃がんのリスクとなるピロリ菌検査、肺については胸部CT、喀痰細胞診、乳腺についてはマンモグラフィ、乳腺超音波、子宮については子宮頸部・体部細胞診、超音波検査を選択して受けることができます。

また、高年齢になるにつれ頻度が増す前立腺がんについては前立腺がん腫瘍マーカー（PSA）を準備しています。詳しくは当院ホームページ「健診センター」を検索してください。

QRコード



健診センター
武蔵野赤十字病院

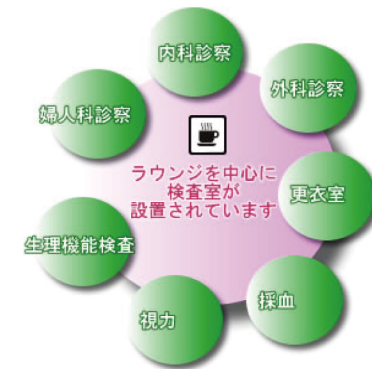
当院は人間ドック健診施設機能評価認定、日本総合健診医学会優良施設認定施設です。



日本総合健診医学会
優良施設認定施設



人間ドック健診
施設機能評価認定



●高齢化社会、心配な認知症検査もあるの？

がんや体の病気以外にも認知症が大きな問題となっています。認知症になると、自分だけではなく、家族が抱える負担も増え家族全体の大きな問題となります。認知症は、病院で検査をした場合、従来の検査法ではある程度認知症が進行しないと検査結果に反映されませんでした。しかし、何だか最近物事を思い出しにくくて・・・といった軽い症状で、より早期に認知症が進行する前に、軽度認知障害（MCI：Mild Cognitive Impairment）を把握する事ができるようになりました。

当院では、2016年4月から**軽度認知障害（MCI）検査**を開始する予定です。

人間ドックの目的は第一に病気の早期発見にある訳ですが、病気の早期発見によって、その病気に対する早期治療あるいは早期の取り組みが出来ることになり、その病気による症状の発現を最小限に抑えることが可能になってきます（糖尿病、狭心症、高血圧など）。病気の早期発見と共に大切なのは、病気の予防です。人間ドックは病気の早期発見のためだけにあるのではなく、病気の予防を学ぶ機会でもあるのです。

年に一度、体のメンテナンスとしての人間ドックの受診をおすすめします。